

仲間とともにたたかいの鐘をならそう！

茨城県平和委員会第3回理事会開催さる（1月27日）

「第4回常任理事会（14名出席）」の一週間後、1月27日（日）に上水戸駅前の「ミオス」で「第3回理事会（35名出席）」が開催され、昨秋以降の取り組みの総括と、6月定期大会までの方針が決まりました。

情勢

12月総選挙では、自/公で衆議院議員の3分の2を確保しました。非民主的な小選挙区制が原因です。安倍超タカ派内閣は、憲法改悪をはじめ、国民の生活を破壊する政策の強行を画策しています。私たちは、質・量ともに前回は上回る、新たなたたかいを構築することが必要です。

「東海第二原発再稼働反対」署名は、総計271,753筆を提出しました。平和委員会は総計8973筆を提出しました。

東海村村長選が県知事選と同じ9月に予定されています。村上現村長は「脱原発」の象徴です。平和委員会独自に東海村村民に対する集中した訴えが求められています。

普天間基地撤去・オスプレイ配備拒否では、MV22オスプレイが沖縄に配備が強行され、違反飛行は常態化し、沖縄県民は騒音や墜落の恐怖の生活を強いられ、怒りは全県民的です。また、オスプレイの低空飛行訓練は、全国6ルートで強行します。県内の自衛隊基地を緊急着陸で使用する危険性もあり、茨城県でも直接的な問題です。さらに防衛省は13年度予算概算請求に、オスプレイの開発・運用に関する調査研究費を800万円盛り込みました。許されるものではありません。

平和委員会は、草の根運動を通し、学習の強化、他団体との連帯した運動の強化が必要です。また運動を通して多くの新しい仲間を積極的に迎えます。

取り組みの総括

1. 県内全域・平和宣伝活動（10月～11月）は、宣伝カーによる「東海第二原発を廃炉に」「オスプレイの配備反対」宣伝は、「県南・県央・県北」、「県西」、「鹿行」の3ルートで進めました。チラシ（B4版・裏表）を、新聞折り込みや各戸配布等を含めて、55000枚を配布しました。
2. 秋の学習会（11/4（日））は、「オスプレイ配備拒否・普天間基地撤去」（内藤功氏講演）を行い、に75人の参加で、熱気あふれる学習会になりました。
3. 意見広告（12/8・土・茨城新聞に掲載）は、総選挙のまっただ中のとりくみでしたが、個人賛同者数1173口、団体賛同者数100口を集約しました。

4. 東海第二原発再稼働反対と脱原発の第5次県知事宛署名提出は11月15日（木）に行なわれました。県は再稼働の立場に立った発言に終始しました。
5. ワインは、赤386本、白298本 全体で684本（57ケース）を普及しました。
6. 新しい仲間は、大会以来24人迎えました。年間100人目標にあと76人です。
8. 財政は、各平和の会・平和委員会が集約する会費が順調に納入されています。
9. 平和新聞・理論誌の購読は、平和新聞の購読数は会員数の4分の1でした。
10. HP（ホームページ）は、インターネットで、「茨城平和委員会」を検索するとヒットします。今後各平和の会・平和委員会の情報を提供、交歓します。

今後のとりくみと方針

1. 組織強化と新しい仲間づくり
 - ① 会員名簿を作成し、現在の会員数を押えます。3月から、会費は名簿をつけて請求し、各会は記載事項を訂正して返送します。
 - ② 地域平和の会のグループ連携を追求します。
 - ③ 月5人以上で、大会まで「1100人会員を実現」します。
2. オスプレイ配備・低空飛行訓練反対と普天間基地撤去、学習会や情報交換・チラシ配布・反対署名等にとりくみます。県内自衛隊基地の緊急配備や立ち寄りがあった場合は、臨機に対応します。
4. 「3. 11メモリアル・デー」は、茨城労連が計画する内部被爆問題や甲状腺異常の学習会参加を提起します。
5. 活動交流集会は、3月20日（水）に開催します。午前中「憲法の学習」、午後「活動の交流」と「大会までに仲間づくり」を中心に交流します。
6. 「東海第二原発再稼働反対・廃炉に」の取り組み
 - ① 3月の知事宛署名提出（県民センターからの提起）に、目標3万筆（通算で30万筆突破）以上の提出実現に取り組みます。
 - ② Big対談「東海村から日本の未来を考える」「村上達

也村長&小森陽一さん」の対談の成功のためにとりくみます。
30日（土）午後～ 会場：東海村・東海文化センター
・チラシの配布、参加券（500円/金券）を普及します。
③ 東海村と県北を中心に、平和委員会が連帯して村内宣伝活動を行います。

7. 「5・3憲法フェスティバル」に積極的に取り組みます。講演は「前泊博盛氏」です。・「賛同者」を平和委員会全体で200名（1口1000円）を組織します。
・平和委員会の模擬店を、内原友部平和の会で行います。
・地域では、事前、事後に「憲法問題に関する学習会」にとりくみます。
8. 「2013年度 定期大会」の開催
2013年6月16日（日）、事前に常任理事会理事会を開催します。
各平和の会・平和委員会は、役員（代表理事・常任理事・理事）の選任を行います。また、年間活動を整理し、事務局に提出します。
9. 平和新聞の購読者を、当面会員数比50%を目指します。
10. 原水爆禁止のとりくみ 原水協と連携して取り組みを強化します。



歓迎！新入会員のみなさんです。
宜しく願います。

.....

○ 上野 修 さん（茨城町）

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2013年2月5日（火曜日）

2007号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 645

2013.2/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

オスプレイ反対東京集会

「沖縄の怒りは頂点！」



「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」実行委員会による「NO OSPREY東京集会」が27日午後、都内の日比谷野外音楽堂で行われました。県内外から約4000人が参加。昨年の9・9県民大会の決議を踏まえ、米軍普天間飛行場に配備されたオスプレイや嘉手納基地への配備計画のいずれも直ちに撤回することなどを強く求めました。

集会で、実行委共同代表の翁長雄志市長会会長は「沖縄が日本に復帰しても、0・6%の面積に74%の米軍専用施設を押しつけられ、基本的人権は踏みにじられ、今回のオスプレイの強行配備で怒りは頂点に達している」と沖縄の現状を説明し、「安保体制は日本全体で考えるべきだ」と訴えました。沖縄県のほとんどの首長らが参加しました。

参加者は集会後、外堀通り約2キロをパレードし、オスプレイ反対を広く沿道にアピールしました。

2.11には、お誘い合わせてぜひ 百里平和公園へ！



百里初午まつり

とき： 2月11日（月・祝日）正午より
（午前11時頃から模擬店・歌声が始まります。）

ところ： 百里平和公園

主催： 百里基地反対同盟

後援： 百里基地反対連絡協議会

内藤功著「憲法9条裁判闘争史」を当日販売販売予定です。

再稼働ありき！県原子力災害対策委員会開催

1月28日（月）、第6回会合（最終）が開催されました。当日は「さよなら原発ネット」の役員ほか8人が傍聴しました。以下「花だいこん」の中山常任理事の「傍聴記」です。

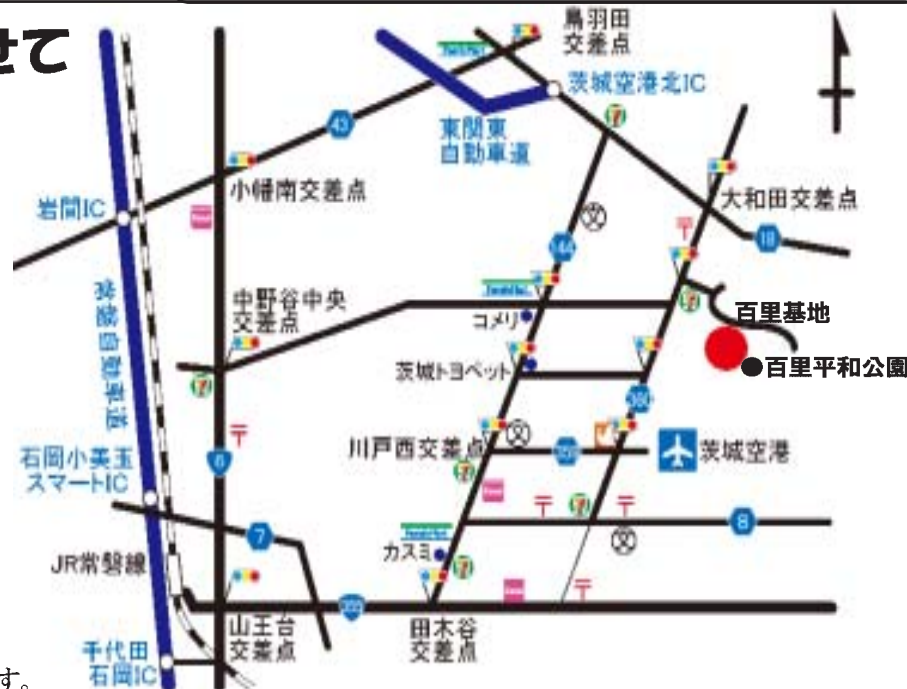
村上村長以外の発言をした委員は、再稼働ありきの発言です。「実際の避難行動に沿ったものにせよ」「県、市町村、の役割、できることできないことを明確にせよ」など、それらしい発言をするけれど、全て人ごとのようです。「言うことは言ったよ、じゃ頑張ってるね」の印象です。

村上村長だけが、「PAZ圏内の6万人、UPZの94万人が避難できる計画ではない」

「この計画に沿って住民が動くとは思えない」「周囲の人口が格段に多い東海第二の立地条件を考えれば、このままでは、東海第二の再稼働はあり得ない」と発言していました。

「これだけの災害対策計画を策定したのだから、安全！再稼働！」との流れがありありの委員会でした。これで防災訓練と防災教育をして安全確保をアピールされたら、新安全神話ができてしまいます。

私たちがのんびりしていたら、再稼働しちゃいます。学習会や署名行動など、もっと旺盛にして、世論を作らないと大変です。十分な報告ができなくてすみません。資料はもらったので、2月4日の打ち合わせに持って行きます。



【シリーズ】わが街・わが会員

石岡市／小山 省悟さん（石岡平和の会）

脱・原発は、未来を守る大人の責任



【さよなら原発集会10万人の声！】

- ・ 福島原発事故は、世界最大の事故です。
- ・ 日本は「世界の恥・世界の大迷惑」となりました。
- ・ チェルノブイリは世界の空を、福島は世界の海を汚染し続けています。
- ・ 事故炉からは、今でも2億4000万ベクレル／日の放射線が放出され続けています。（東電発表）
- ・ 事故は、16万人の原発難民を出し、福島の大地を失ったのです。
- ・ 使用済み核燃料（死の灰）の事は、今だに安全処理はされていません。処理法は決められないんです。
- ・ 東海第二原発のプールには、広島型原爆5、000発分の死の灰がたまっています。
- ・ 「内部被曝は、今からの大問題。胎児を初め年令の低いほど放射能は危険です。内部被曝を断じて楽観視してはいけません。」は、心有る医者話し。
- ・ 原発は、命懸けの電気なのです。
- ・ 原発の再稼働は、人命軽視。止めることのできるのは私たち大人です。

核兵器のない世界へ
非核と憲法9条輝く日本を
2013年3・1ピキニデー

2013年2月27日（水）～3月1日（金）@静岡グランシップなど

☆☆ 2013年3・1ピキニデーパンフレット ☆☆
頒価200円、B5版、16ページ